



# 上海国際交流プログラム 2019

2019年11月29日

## 上海市工商外国語学校訪問

### 日程

1日目	上海着 姉妹校訪問 バディと田子坊視察 バディ宅でホームステイ
2日目	バディ宅での交流 森ビル上海事務所・ 外灘視察
3日目	上海ディズニーランド視察・研修
4日目	姉妹校授業体験 七宝古鎮視察 帰国

平成16年に始まった上海国際交流プログラムは、学校訪問やホースステイをとおして生徒同士が交流しあい、互いの文化を理解することを目的として続けられてきました。平成23年からはキャリア教育の視点から、現地で展開している日本企業への訪問も行っており、生徒が自己の視野を広げ、コミュニケーション能力向上の必要性を強く感じる機会にもなっています。

本年度は、10月18日(金)から21日(月)の3泊4日の日程で実施し、生徒19名、引率教員2名で参加しました。姉妹校である上海市工商外国語学校の生徒28名は、7月16日(火)に本校に来校しており、今回はみなと総合生が訪問することになりました。

生徒たちは4日間の訪問で文化の違いや上海のスピード感到驚きながらも、同じ高校生同士で通じ合うところは多く、さまざまな刺激を受けてきたようです。4日間の体験をこれからの自分の人生やみなと総合での高校生活に還元していってくれることを願っています。



### 参加生徒の感想（一部）

★初めての国、伝わらない言葉が最初はとても怖かったです。でも、バディの子やその家族、友達のおかげで、楽しく過ごすことができました。「中国語が無理なら英語で、それでもダメならジェスチャーで表してくれたからかな」と思います。難しいことも大変なことも多かったけれど、楽しく思い出として大切なものになったと思っています。これを生かして過ごしていきたいと感じました。

★言葉が通じないということはとても大変なことだと改めて感じました。そして、通じたときはとてもうれしかったです。1日中英語を話してみてもっと英語が好きになりました。

★一番文化について学びました。中国と日本の文化の違いが多くあり、驚いたけどこれが文化の違いだと実感することができました。また、中国語を学び始めて少しかたっていたので中国語で話すことがあまりできず、コミュニケーションをとることの難しさも感じました。たくさんのことを学び、とても良い時間を過ごせました。

★距離は近くても、国が違うだけで環境や文化、すべてが日本とは違って良い勉強になりました。上海の人々はみんなたくさん話しかけてくれて、最初は少し怖かったけどそれが優しさなのだと感じました。

